

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	4	推進体制の充実・連携強化	担当課
施策の基本方向	1	市の推進体制の充実	総務課
具体的施策	37	総合的な推進体制の整備と施策の推進	
取組内容	庁内の男女共同参画推進会議、幹事会、ワーキンググループ員会議及び外部委員にて構成される男女共同参画審議会の開催を通じ、市の男女共同参画施策の進捗管理及び施策の効果的な推進を図る。		

R3 年度 取組 内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進ワーキンググループ員を通して、庁内の男女共同参画の推進を図る。 ・男女共同参画推進会議を開催する。 ・男女共同参画審議会議を開催する。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ員を通じ各課(室)との連携・調整を図りながら、推進会議、審議会の意見を反映させた第3次計画における取組を推進していく。 ・第3次男女共同参画計画最終年となるため、目標達成に向け、さらなる推進を図る。

成果 指標	指標名	単位	現状 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-									
	-									
	-									

R3 年度 取組 実績	実績 (成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進ワーキンググループ員に対する研修を実施。自分の業務にある男女共同参画の課題について考える機会を作った。(古賀倫嗣教授による研修) ・男女共同参画推進会議：2回、男女共同参画審議会議：4回 実施した。
	今後の課題	コロナ禍で全職員研修が困難中、各課の代表として就任しているワーキンググループ員は庁内推進の核となるため、今後もワーキンググループ員に向けた研修は実施していく必要がある。

評価	A	評価の理由	ワーキンググループ員研修の実施をとおして、自分の担当する業務と男女共同参画推進との関係性を考える機会を作ったため。
----	---	-------	---

【評価の視点】	・男女共同参画の視点が施策に反映されているか	・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた	B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた	
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった	D：事業実施の実績なし	

前年度(R2年度)からの課題	「荒尾市審議会議等への女性の登用推進に関する規程」を制定し女性委員登用率アップに向け庁内全体で取り組むために、全職員への周知徹底が必要である。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	4	推進体制の充実・連携強化	担当課 総務課
施策の基本方向	1	市の推進体制の充実	
具体的施策	38	男女共同参画に関する施策を広く周知するための広報活動	
取組内容	市の男女共同参画社会に関する施策や、男女共同参画計画に基づく施策の進捗状況等について、広報やホームページ等を通じ公表を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 第3次荒尾市男女共同参画計画について広く周知を行う。 計画期間終了の特定事業主行動計画について、現状と課題を分析し改定を行い、その内容を広く発信する。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 第3次荒尾市男女共同参画計画の目標に対する成果について、市のHPや広報で発信する。 特定事業主行動計画の目標に対する成果について、市ホームページ等で発信する。 男女共同参画推進室の事業に合わせ、第3次荒尾市男女共同参画計画の概要版を配布する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> HP及び広報で第3次男女共同参画計画に係る令和2年度実績報告を行った。 事業の際に計画の周知を行っていたが、コロナ禍で事業が少なくなり、周知する機会も減った。 特定事業主計画の令和2年度実績についてHPに掲載した。
	今後の課題	計画の進捗状況は、定期的に発信していく必要がある。

評価	A	評価の理由	広報、HPを通じ計画の進捗を発信できたため。
----	---	-------	------------------------

【評価の視点】	男女共同参画の視点が施策に反映されているか	男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A	目標を達成することができた	B: 目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C	目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった	D: 事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	今後も随時情報の見える化に取り組み、取り組み状況を発信していく。
----------------	----------------------------------

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
----------------------------	--

男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	
---------------------------	--

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	4	推進体制の充実・連携強化	担当課 総務課
施策の基本方向	1	市の推進体制の充実	
具体的施策	39	男女共同参画に関する市職員の意識啓発の推進	
取組内容	職員一人ひとりが男女共同参画の視点を持って市の施策に取り組む事ができるよう、男女共同参画についての全職員対象研修を行い、意識啓発を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職(イクボス)研修の実施 ・一般職対象研修の実施 ・男性職員の育休取得の促進
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して、行政職員が地域に対して望ましい職員像を具体性をもってしめず機会を作っていく。 ・男性職員の育児休業取得を推進するために、事例紹介など制度に対する職場全体の理解を深めることで、取得しやすい環境を整備する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		男女共同参画職員研修アンケートにおいて「男女共同参画について理解が深まった」と回答した割合	%	70.7 (H27アンケート調査結果)	95.5	84.4	89.0	86.9	実施なし	実施なし
	市の男性職員の育児休業取得率	%	0 (H28.3.31)	0	10.0	15.4	7.7	0.0	7.1	5.0

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職(イクボス)研修は新型コロナウイルス感染症拡大により、上半期では実施できなかったが10月から開催した。途中オンライン開催も交え、ハイブリット開催で最後まで実施することができた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、一般職全員を対象とした研修が実施できなかった。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進のためには、女性職員を支援する立場の管理職の育成も重要であり、いまだ女性管理職の少ない現状から、今後も引き続き管理職(イクボス)研修は継続していく必要がある。 ・改正が見込まれる新たな育児休業制度については、分割での取得が現行よりも容易になることが想定されるため、男性職員の育児休業取得につなげていく必要がある。
評価	A	評価の理由 コロナ禍であっても、中止にすることなくオンラインを取り入れて事業を最後まで実施できた。男性育休の取得者は目標を上回ることができた。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	・男性職員が育児休業を取得しやすい環境を整備するためには、まず管理職の意識と行動を変革することが重要であり、そのための継続した取組が必要である。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	4	推進体制の充実・連携強化	担当課 総務課
施策の基本方向	1	市の推進体制の充実	
具体的施策	40	男女共同参画に関する国際的な取組事例等の収集と情報提供	
取組内容	男女共同参画の国際的な取組事例等の情報を収集し情報提供に努めるとともに、国際的な協調に向け、国の施策との連携を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	・男女共同参画に関する国際的な動向や、国・県等の動向について情報を収集し、広く市民へ提供する。
	目標	・国や県の動向と合わせ、世界の動向にも注視し、荒尾市の現状、日本の置かれた現状を市民へ広く発信する。 ・時代のニーズを把握し、市の取組に反映させる。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	・男性育児休業90%以上のスウェーデン大使館の協力で、11月に「スウェーデンのパパたち」写真展を行った。市民に国際的な男性の育児参画の現状を写真を通して発信した。 ・写真展を機会に、市長からメディアや管理職へ男性職員の育休推進の表明があった。
	今後の課題	玉名市の協力により写真展を実施することができた。今後も他市や県等との連携を継続し、様々な情報発信をしていくことも

評価	A	評価の理由	スウェーデン大使館の後援により写真展を実施し、男性の育児参画の先進国の情報を広く市民に伝えることができた。
【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか			
A：目標を達成することができた		B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた	
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった		D：事業実施の実績なし	

前年度(R2年度)からの課題	・第4次荒尾市男女共同参画計画策定に向け、国の「第5次男女共同参画基本計画」や「第5次熊本県男女共同参画計画」等、積極的に情報収集を行っていく。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	